



祭祀舞
務古津
比売命

弓弦羽
嶽大
祓祭祀



M Saishi Nohmai
ukotsuhime no mikoto

2018. 10.12

入場料 3,000円

2018.10.12 金曜日 18:30 開場 19:00 開演 20:15 終演予定

会場：弓弦羽神社 神戸市東灘区御影郡家 2-9-27 tel 078-851-2800

弓弦羽神社御鎮座壹千壹百七拾年
奉祝記念事業 弓弦羽嶽大祓祭祀
祭祀能舞

務古津比売命

— 宗派を超えて「自然神」を祀る —

総合監修

澤田政泰 弓弦羽神社宮司

詞章 総合演出

林田浩二 能楽普及協会代表理事

能楽監修

林宗一郎 観世流能楽師

河村和重 観世流能楽師

能楽プロデューサー

河村純子 能楽普及協会理事

務古津比売命

河村浩太郎 観世流能楽師

協賛

弓弦羽神社崇敬会

神戸甲南ライオンズクラブ

後援

灘五郷酒造組合

東灘区役所

神戸新聞社

製作

能楽普及協会

主催

弓弦羽神社



弓弦羽嶽大被祭祀

祭祀能舞

務古津比売命

【趣旨】

「弓弦羽嶽大被祭祀」は、従来の「熊野の神々のもと執り行われる祭祀」ではなく、社殿の背に聳える六甲山（弓弦羽嶽）自体を御神体とし、瀬織津比売命をモデルとした「務古津比売命」（巫女神）が宣り下して参集者の罪穢れを祓い清めるといふ「新たな大被祭祀」です。

原史（縄文後期）のアニミズム（自然崇拜）に端を発した日本文化は、渡来文化と混合される際、古いものが持つている内容のうち、積極的な要素が、新しく高い段階として保持されるとされ、文化の混合が何回繰り返されても、古いものが完全に消し去られる事なく、現在に至っています。

この現象を、哲学の概念では「止揚 aufheben」と呼びます。人々の思考の発展の過程で広く作用し、社会風土を熟成すると言われる「止揚」を意識した「弓弦羽嶽大被祭祀」が宗派を超えて多くの崇敬を集め、ひとの『よく生きる』に貢献することを切望しています。

【設定・あらすじ】

神職による「火鑽神事」を執り行い、清浄な舞台を整える。大被祝詞を奏上。祖神が授けた「太祝詞を奏上しなさい」と宣言する。巫女神 務古津比売命が現れ、天津祝詞の太祝詞（三種大被）を奏上すると、辺りの木々や社が輝き、神々しい白光色に包まれ、弓弦羽嶽そのものが「申体」（御神体）となって姿を現す。

太祝詞によるこんだ善女竜王も、嵐にひかれて現れる。

「ひとの願いを誓い奉れ。己の心に誓いを奉れ。そうすれば、ひとの心の罪穢れが祓われ、『よく生きる』ことができる。」——と、宣り下した務古津比売命は虚空に舞い上がり、全ての罪を祓い清める。祖神の下に行われた「ひとの誓い」をよるこび、

務古津比売命と善女竜王は共に舞い、申体 弓弦羽嶽に消えていく。



2018.10.12

18:30 開場 19:00 開演 20:15 終演予定

●祭祀能舞解説 林田浩二

●火鑽神事 祝詞奏上 澤田政泰 上山裕嗣 土井秀勝 中澤崇浩 村井伸彰 本澤雅孝 善見有滋

●祭祀能舞「務古津比売命」

務古津比売命 河村浩太郎

善女竜王 河村和晃

笛 杉信太郎

小鼓 曾和鼓堂

大鼓 谷口正壽

太鼓 井上敬介

地謡 河村和重 河村博重 田茂井廣道 河村和貴 樹下千慧

後見 林宗一郎 味方團

●主催者挨拶 澤田政泰

※出演者等 変更の場合は、御了承下さい。



入場料 3,000 円 全席屋外・自由 300 席

<会場> 弓弦羽神社境内 兵庫県神戸市東灘区御影郡家 2 丁目 9-27

阪急御影駅から南東へ徒歩 5 分 JR 住吉駅から北西へ徒歩 10 分 阪神御影駅から北へ徒歩 15 分

<お問い合わせ> 弓弦羽神社社務所 tel 078-81-2800 <https://yuzuruha-jinja.jp/>